



⑪渡邊太楼（3年）

＝静岡・吉原第一中出



2回戦はブルペンで投げ、準備をしていました。直球の制球がいまひとつで登板の機会はありませんでしたが、変化球の切れはばつ

甲子園だより

登板したら絶対抑える

ちりなのでここから調子を取り戻していきたいです。

次戦の海星戦で登板するとすれば継投だと思おうので、チャンスをもらったら勝利に貢献できる投球をしたいです。「投げたい」という気持ちは十分だし、絶対に抑えられる自信があります。

次戦までにしっかりと仕上げ、今までお世話になった人たちに成長した姿を見せて、恩返しできればと思います。